

急変時対応シート作成趣旨について

近年、高齢化の進行に伴い、函館市においても在宅のみならず、介護施設や高齢者住宅などからの高齢者の救急搬送が年々増加しております。

医師や看護師などの医療職が常駐していない施設等では、入所（居）者の救急搬送の場面で、施設等の職員の適切な判断や対応が求められています。

高齢者の緊急事態はいつ起こらないとも限りません。特に休日や夜間は施設職員が少ないために、救急要請の判断が遅れるなど、迅速かつ適切な対応が取れないことで尊い命に影響を及ぼすこともあるかもしれません。

そこで、函館市医療・介護連携支援センターでは、函館市消防本部の協力のもと、高齢者が救急搬送される時に、より適切かつスムーズな搬送につなげることができるよう、急変時対応シートを作成しました。

このシートは消防庁のホームページ (<https://www.fdma.go.jp>) に、“重大な病気やけがの可能性のある「ためらわず救急車を呼んでほしい症状」”として掲載されている図に、救急隊が最低限伝達してほしい情報を追加しております。

急変時の対応がより適切なものとなりますよう、救急搬送が必要かどうか判断に迷った時や救急隊への情報提供シートとして、ぜひともご活用を推奨いたします。

函館市医療・介護連携支援センター